

車内販売

新発売の絵葉書は、下り11冊、上り5冊とまずまずのスタートとなった。キーホルダーは、下り9個、上り7個と引き続き好評であった。どちらか一方を購入して頂いたお客さんにもう一方を勧めることで効果があったようだ。募金も「うち」効果があり下り10585円、上4715円集まった。



(車販風景)



(新発売の絵葉書とキーホルダー 女性が売ると売上が伸びる)

保護管理委員会

千頭駅到着後、保護管理委員会を開催した。C12及び客車の保存状況の報告、トラストトレインの保存・活用について報告がされた。トラストトレイン運行には安全第一である。C12の保存状況は小煙管の交換がされたことで良好である。しかし、いずれは、ボイラーの交換が必要となる。できるだけ負担のないように圧力をかけ過ぎないように運行している。また、スハフ43の外板塗装も6年がたっており傷みが目立ってきている。保存・維持していくには、お金がかかる(維持費260万円/年)が、補修計画については財団と大井川鉄道で費用について打ち合わせを行なって行く。

また、ボランティア依存では保存に対して限界があるという意見もあった。我々も月に1回だけでは、技術的な面を身につけていくことは困難であり、お手伝い程度である。現状では募金集めに力を入れていると報告した。

鉄道サークル見学会 6月9日

<小湊鉄道機関区・養老溪谷・大多喜・大原を訪ねる旅>

さわやかに晴れ上がり絶好の見学会日よりとなりました。参加者は、初参加の岡野さんとお孫さん、東海地区からは遠路はるばる浅井さん、丸山さんの参加をはじめ、12人が集まりました。

1) 小湊鉄道機関区

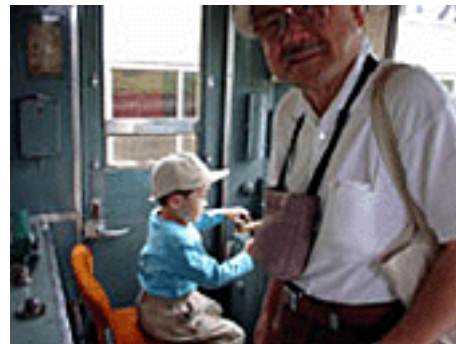
五井の小湊鉄道機関区に静態保存されている蒸気機関車や現役で活躍するディーゼルカーを見学しました。

静態保存されている3両の蒸気機関車のうち2両は、大正13年(1924)に小湊鉄道が翌年の開業に向けてアメリカから輸入したもので、昭和31年まで現役で活躍していました。残り1両は、明治27年(1894)イギリスで製造され、日本鉄道が輸入し、昭和21年(1946)に当時の国鉄から払い下げを受け、昭和25年まで現役で使用されていました。

現役で活躍するディーゼルカーについては、設備や整備について説明を受けました。1時間の見学時間があっという間に過ぎました。



(小湊鉄道五井機関区)



(初参加の岡野さんとお孫さんも見学)



(静態保存中のかつて活躍した蒸気機関車達)



(物置となっている引退したディーゼルカー)

2) 養老溪谷

小湊鉄道に乗って養老溪谷へ。ここで昼食。駅前の食堂で食事。約3名は街を散策し、地元の豆腐屋さん発見!それにおにぎりを肴に駅プラットフォームで一献をかたむけました。Y氏の交渉術でしよゆパックも無料でゲットして、満足げな3名でした。



(養老溪谷駅にて)

3) 大多喜

養老溪谷駅のとりの上総中野駅でいずみ鉄道に乗り換えて大多喜で途中下車し、街並みを見学しました。予想外に古い建物が残り、米山さんも絶賛。江戸期の大屋旅館、重要文化財の渡辺家、登録文化財の造り酒屋とのんびりと街を散策しました。造り酒屋で帰りの酒を購入し大原に抜けました。



(地元の方に聞くのが一番、おかげで大屋旅館を知り得た)



(江戸期の幻の旅館発見!大屋旅館は登録文化財に指定済み)



(この造り酒屋でお酒を調達)

